

学校運営協議会議事録

学校（地区）名 西浦地区学校運営協議会

日時	令和 8 年 2 月 20 日 (金) 10 時 30 分 ~ 12 時 30 分			
場所	西浦公民館			
出席者	委員等	17名		
	学校	6名		
	市教委	2名		
経過報告	(1) 西浦学園保護者説明会・地域説明会について (2) 第3回学校運営協議会『熟議』まとめ (3) 令和7年度学校評価について			
協議事項	(1) 来年度の西浦学園経営方針について (2) 来年度の組織について (3) 来年度の年間計画及び協議事項等について (4) 会計報告(令和7年度収支決算・コミュニティスクール推進事業)について			
経過報告要旨	意見の概要	(1) 西浦学園保護者説明会・地域説明会について ・webで募った事後質問の返答を説明。主な質問内容は体操服、ふれあい登校などの生活面、教育課程、部活動について。ふれあい登校は4月から正式に実施予定。	協議の結果	—
	意見の概要	(2) 第3回学校運営協議会『熟議』まとめ ・テーマは「挨拶による多世代交流」。現状はふれあい登校や児童会活動を通じて子どもたちの挨拶は少しずつ良くなっている。協議内容は「大人から挨拶できる街づくり」を合言葉に地域学校家庭が連携することを再確認。具体案としてはチラシ配布で地域全体への周知、見守りルートの作成等が挙げられた。	協議の結果	—
	意見の概要	(3) 令和7年度学校評価について 【小学校】 ○「安全」「笑顔」(中学との交流の結果か) ×「地域学習」(9年間を見通した生活科・総合の再構築が必要) 【中学校】 ×「挨拶」自己評価と他者評価に乖離がある。「家庭学習習慣」が依然として課題。 【委員意見】 ・保護者のアンケート結果で保護者自身の考えを答える項目で「その他(どちらでもない)」が多いのはなぜか →活動参加に対し意欲はあっても事情があり不参加等が考えられる	協議の結果	—
意	(1) 来年度の西浦学園経営方針について ・校訓を「愛と創」とし、9年間を4-3-2制で区分。5年生からの教科担任制を導入し、中一プロブレムの解消と専門的な学習を 目指す。英語教育・NTSUTIDA CTIDV(地域学習)。情報教育を	協		

協議事項要旨	見の概要	口取り。大田教育・NISHIKURA STUDIO（地域子弟）・情報教育を柱として学園の教育を進めていく。 【委員意見】以下提案 ・通知表を数字の評定ではなく「論文形式」「記述式へ ・英語に力を入れる ・柔軟な授業形態（習熟度別や大人数の人とかかる機会）	議の結果	承認
	意見の概要	(2) 来年度の組織について ・学校運営協議会内に「ひとづくり」「いえづくり」「まちづくり」の3部会を新設。地域住民がより主体的に学校運営に関わる体制を構築する。 【委員意見】 ・3部会制になっても全体情報共有が必要 ・主任児童委員の人数減は地域と学校を繋ぐ実働が減るという懸念があるため、連携が途切れないようにしてほしい。	協議の結果	承認
	見の概要	(3) 来年度の年間計画及び協議事項等について ・学校運営協議会は年4回西浦公民館会議室とする。	議の結果	承認
	見の概要	(4) 会計報告(令和7年度収支決算・コミュニティスクール推進事業)について ・市からの予算3万円の支出内訳の共有	協議の結果	承認
その他意見交換等	【CS研究協力アドバイザーからの指導助言】 ・学校評価は「説明責任」と「組織的な学校改善」の二側面がある。学校運営協議会としては「学校改善」で学校側への意見や提案をしていくことが大切。 ・学校評価のアンケート結果の分析は、昨年比の数字の増減ではなく、数値としては少ないが課題があるところ（保護者の評価で「その他、わからない」が多い部分）や子と保護者の回答に差があるところの共有が大切。 ・また、教職員の感想が足りない。「子ども、保護者、教職員の三者のずれ」について認識する必要がある。例えば学校運営協議会の熟議のテーマを「学校評価の内容について」とし、教職員・保護者・地域が共通認識をもつことが重要。 ・学校運営協議会の1年の振り返り（評価）も必要。学校運営協議会の3部会を中心に、地域の団体等とも連携しながら「持続可能な組織」として、無理のない範囲で一歩ずつ成功体験を積み重ねていくことを期待している。			
協議資料				
備考	傍聴者 [2] 名 CSアドバイザーほか			